

ネパール現地報告 13

メモ（主要のみ）

5月22日

日本語聖書集会（金曜集会）参加。

5月23日

午前、ネパールコミュニティの団体マヤファウンデーションから要請あり、被災地での心のケアに従事するネパール青年ボランティアに、被災地での心のケアを行う際の留意点についてお話しする。

前HDCS所属の旧友で現在ローカルNGO「CM」にて活動中のラジン マハルジャンさんと面会。被災地支援活動について話を伺い、支援金をお渡しする。

午後、亀田総合病院の佐野医師が日本より到着。同行し市内の被害状況を見て回る。

5月24日

佐野医師と共にカトマンズ市内、近辺の病院、診療所を見て回る。

・アナンダバン病院は屋外、テントでの診察。緊急医療援助に入っていた外国からの医療従事者は2～3名を残し既に帰国。

・チャパガオン診療所は診察は平常通りだが、研修棟、管理棟が一部倒壊し使えない状態。スタッフに震災時からの被災地支援活動について伺い、支援金をお渡しする。

・国立病院ではティーチングホスピタルは平常通り、カンティ小児病院は入院患者は入院棟ではなく、1階待合室を使用。外来はERと屋外にて行っていた。

5月25日

午前、日本大使館を訪問後、帰国の途へ。6月28日再度ネパール入り予定。

今後の課題

中～長期的支援（心のケア、生活、住宅支援）。